



だっこするよ

平成29年4月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

こどもも大人も 生命の花を咲かせよう。

桜の花もほころび始め、華やかな春が到来しました。

希望に胸を躍らせていいよいよ新年度のスタートです。新しい家族の新入園児53名を迎え、合わせて211名のこどもたちと一緒に笑顔がいっぱいの「昼間のおうち、大きな家族」を作っていくたいと思います。

こどもたちが健康に過ごし、安心して遊び、生活して、一人ひとりが自分の課題に向かって自立練習＝自分作りが思う存分出来るように、見守って参ります。そして、「個」＝自分に向き合うことと「集団」＝仲間と関わり合うことを経験していく時間をたっぷり保障していきます。一人ひとりとの愛着関係を基にして、こども同士のさまざまなトラブルや葛藤を大人の見守りの中で十分に経験させてあげること、こども時代を満喫して、そのなかで、集団生活、民主主義の基礎ルールを学ぶのです。(ちょっと大袈裟ですが)

入所してすぐにこどもたちは、どのこも見事に「自分らしさ」「自分の好きなこと」を豊かに表現し始めます。「自分の存在はここだよ～」と主張が出来るんです。そして、「自分」の中の「自分」に気付き始め、自分から周りの環境に働きかけて一生懸命遊び始めます。遊んで、遊んで「自分」育てをして欲しいです。そして、こどもは社会の宝、未来の希望です。大人たちの見守りの中で、人として尊ばれて、社会の一員として重んじられ、良い環境の中で育てて参ります。まだまだ生まれて間もないこどもたち、この時期こそ大人たちの温かい眼差しや愛情をたっぷりとふりかけて、人への信頼感や自己肯定感を育んでいきましょう。

さて、3月24日、卒園式が行われ、30名の年長児が巣立ちました。散歩に、おにごっこや縄跳びをしたこと、とにかくよく笑い、よくケンカして、言い争い、よく泣いて、よく仲直りして過ごしました。そして、自分の気持ちをみんなに伝えたり、意見の違いを認め合えるようになってきたと感じます。また、遠出散歩ではやさしく手を引き、危ないと車道側を歩いてくれ、食後の掃除などしてくれ、年長さんたちはみんなの憧れでした。異年齢で過ごす保育園は、仲間との関わりの中で、人に対する愛情や信頼感、思いやりを大切にする心を育てます。自然と手を差し出して気遣う様子は「大きな家族」そのものです。今年度もどんな事件や出来事が起こるのか楽しみでなりません。

待機児童問題、子どもの貧困など格差問題、益々深刻な状況に見えます。保育施設の増量の為に規制緩和されて、命に関わる認可基準が下げられている現実もあります。先日の姫路のこども園のニュースも胸が痛みます。社会全体でどのこも格差のない保育を受けられる社会でありたいと思います。

二年目を迎える、幼児クラスでは、生活力を育んで参ります。上靴洗い、お手拭タオル洗い、長い廊下の雑巾がけ、掃き掃除、給食の配膳や片付けや野菜栽培、地域との交流などなど自分たちが生活をつくるへ、仲間との心地良い生活を自分たちが考え助け合い創っていきます。自立・自律です。歩育、わらべうた、食育も異年齢交流保育も全てつながっています。そして、こどもたちの最善の利益に向かって手先や手足を、耳や脳や体を働かせる保育を進めます。ご家庭でも家族の一員としてお手伝いをどんどんさせて下さいね。

4月、こどもたちは進級や入園による変化に元気に見えてもやはり緊張しています。ご家庭では、生活のリズムを整えて、おこさんの話にゆっくり耳を傾けて、ゆったりまるごと抱っこをしてあげてください。園生活でご心配に思われることやわからないことがありましたら、いつでも遠慮なく職員にお尋ね下さい。2017年の春、真っ盛り「今、ここで」起こることを全部栄養にして自分の生命の花を、こどもも大人も満開に咲かせようではありませんか。どうぞ宜しくお願ひいたします。(写真は3日進級式の様子です。)